



みんなのひと 事務局通信

～平成 29 年 2 月発行～

発行：市社会福祉協議会総務課
住所：相模原市中央区富士見 6-1-20
電話：042-730-3888

「福祉のしごと」の魅力を映像で発信！

本会では若い世代に福祉の仕事への興味・関心を持ってもらうための方策について、高齢、障がい、児童の各種別の施設協議会の方々と協働して、平成 27 年度より「福祉のしごと・魅力づくり検討委員会」で検討を重ねてきました、その成果の一つとして、福祉施設の若手職員が中心となって、高校生向けに福祉の仕事を紹介する「授業プログラム」の開発と、仕事の魅力を伝える映像「福祉の魅力って何だろう～私が福祉で働く理由～」を制作しました。

現場職員の「生の声」を語るドキュメンタリー

施設利用者の方々に真剣に向き合いながら、その人の人生に寄り添うからこそ経験する辛さや悩み、そして利用者の笑顔からもらえる元気等々が語られています。

撮影・編集は、地域の大学や行政がまちづくりなどで協働する「さがまちコンソーシアム」の学生プロジェクトチーム、「さがまち学生 Club」の学生に依頼。学生ならではの視点で福祉の仕事の魅力を伝えています。今後、映像は市内の高校で行う出張授業「高校等キャリア教育推進事業」の教材として活用するとともに、福祉関係のイベント等、幅広い場面での上映を予定しています。



●映像は本会ホームページで公開

映像は本会ホームページで公開中。ホームページは「相模原市社会福祉協議会」もしくは「相模原 福祉の魅力」で検索いただくか、右記の QR コードからご覧ください。



第 6 回地域福祉活動計画等推進委員会を開催

●生活困窮世帯の課題解決を検討

2月6日（月）に「第6 回地域福祉活動計画等推進委員会」が開催されました。本委員会は第8次市協地域福祉活動計画に基づく事業等の進行管理を行うものです。

今回の委員会では、①小地域での生活困窮者支援、②地域と社会福祉施設の連携、③地域福祉活動計画の推進と介護予防・日常生活支援総合事業、④地区住民相談支援活動の推進についての進捗状況を報告。

「小地域での生活困窮者支援」として平成 27 年度より取り組まれた助成事業「みらいチャレンジプログラム応援事業」が、就労訓練や学習支援などに取り組む市民活動団体を支えることになったこと、また各団体の事業を通じた様々な生活課題について確認されました。課題への対応策の一つとして、「子どもの居場所づくりを目的とした団体向け活動助成」や「就労訓練を終えた方への就職準備の支援事業」を新たに創設することの必要性などについて検討が行われました。

地域の支え合い活動の推進に向けた コミュニティソーシャルワーカーの配置について

本市では、市内22の地区社会福祉協議会が中心となって、「福祉コミュニティ形成事業」として小地域の支えあい活動が推進され、各地区に住民交流拠点の運営や見守り活動などが育まれてきました。これらの活動をさらに推進するために、平成27年度よりモデル3地区（城山、田名、相武台）に、地域支援を専任で行うコミュニティソーシャルワーカー（以下CSW）を配置しました。

●モデル3地区の成果とCSW22地区配置

CSWは担当する地区の民生委員・児童委員との連携やサロンなどの地域の活動への訪問などを通じて既存の福祉サービスだけでは支援が困難な個別ニーズの把握に取り組み、それらの制度の狭間にあり課題解決が必要とされているニーズについて、小地域の支えあい活動に結び付けるために、住民の方々とともに協働して支援に取り組みました。

また、住民や専門相談機関、福祉分野以外の機関とも連携し、情報交換会やケース会議を行うなど、関係機関とのネットワーク構築にも取り組んでいます。

これらの成果を踏まえ、平成29年度からは市内22地区にCSWを配置し、地域で困りごとを受け止め、解決するための体制を強化していきます

●組織で検討する環境づくりを目指して

22地区の支援体制を強化するために、職員の援助技術の向上と、組織としての支援方針を確立するために、職員向けの研修を実施しています。1月20日、25日の研修では、講師である首都大学東京准教授の室田信一氏より「法律に則らない制度の狭間の課題の解決は、組織内で検討する環境が大切である」との指摘があり、CSWを配置する係、区事務所等における定期的な職員間での事例検討や情報交換の場づくりにむけて「チーム制の導入」等の検討も進めています。



防災の知識を体験～防災とボランティアの集い開催～



＜簡易的に作れるブルーシート
テント展示の様子＞



1月21日（土）、市立谷口台小学校（南区）にて地震等の災害発生時に、身を守る知識や技術を学ぶ「防災とボランティアの集い」が開催されました。この事業は、相模原災害ボランティアネットワークの主催事業に市社協が共催し、相模原市赤十字奉仕団、生活協同組合ユーコープ県央第1エリア会、NTT東日本、（株）河本総合防災の協力により開催したものです。

安否情報等の情報を音声で登録・確認できる、「災害時の伝言ダイヤル体験」や竹の棒と毛布で作る「簡易担架搬送体験」、保存に適した食品を常に一定量の備えの状態にするローリングストック等を学ぶ「非常食体験」のブースを体験。また、災害時に自分自身や家族、地域を守るための知識を学びました。